

## 国立天文台の新天体情報室について

昔の東京天文台および現在の国立天文台では、アマチュア天文家の方々から寄せられる彗星、小惑星、超新星、新星などいわゆる新天体の発見通報、確認依頼などに応えるサービス業務を長らく行なって来ました。1994年4月から、国立天文台内の組織変更に伴って、新天体情報室が設けられました。スタッフは私を含めて3名で、他の部署との併任です。

新天体情報室の業務内容としては、次の2つを主に念頭に置いていますが、この外に新天体に関連するさまざまな情報も取り扱う予定です。

- (1) いわゆるアマチュア天文家、一般市民から寄せられる新天体の発見通報、確認依頼、問い合わせへの対応、国際天文学連合天文電報中央局や外部の観測所との情報のやりとり。
- (2) 大学等の研究者が新天体に関する研究を行なう場合の研究支援やデータベース。

第1の業務にできる限り迅速に対応するために、夜間や週末・休日に通報用の留守番電話に入電があると、その日の当番が持つポケベルに自動的に呼び出しが掛かるようになっていました。従って、遅くとも翌朝までには通報者の方はこちらから連絡できる筈です。このために、私たちの外に、天文台内で5～6名の協力者がポケベル当番に従事しています。通報があれば常時すぐに対応できるようにするのが理想ですが、今の人員と予算では現状がせいっぱいです。

電話通報による言い間違い聞き違いを減らすため、FAXも大いにご利用下さい。FAXはスケッチや写真、CCDのハードコピー等も送れますから、確認作業を能率的に行なう上で大変役立ちます。

電話番号は、

**0422-34-3691**

(夜間/休日の新天体通報留守番電話)

**0422-34-3600**

(国立天文台の代表番号、夜間は番号案内)

**0422-34-3627** (新天体情報室、FAX 兼用)

**0422-34-3748** (新天体情報室・留守番電話)

です。

最近パソコン・ネットワークの普及で、情報の伝達が一昔前に比べれば信じられない位速くなりました。そのため、天文台の翌朝の対応では間に合わないことも起こるでしょう。また、国立天文台のネットワークも時にダウンする場合があります。そうした際に備えて、天文電報中央局への通報は、国立天文台以外の連絡チャンネルも予め確保しておかれることをお勧めします。具体的には、天文雑誌の情報欄などに出ていますのでお調べ下さい。

第2の業務は、ワークステーションとモデムを用いて新天体に関するデータベース等のサービスを行なうもので、現在準備中です。開始の時期、サービスの内容、サービスを提供する範囲についてはお問い合わせ下さい。これは、国立天文台が文部省の大学共同利用機関であるという役割に沿ったものです。

新天体情報室の運営は、天文学コミュニティーやアマチュア天文家の動向とニーズに応じて柔軟に対応して行く方針です。御意見、御要望をお寄せ下さい。

国立天文台、

新天体情報室：中村 士 (つこう)

〒181 三鷹市大沢 2-21-1